

梅雨の時期に関するお知らせ

平成29年7月19日
奈良地方気象台

大阪管区気象台は、本日（19日）11時に次の内容で「梅雨の時期に関する近畿地方気象情報第2号」を発表しました。

（見出し）

近畿地方は梅雨明けしたと見られます。

（本文）

近畿地方は、高気圧に覆われておおむね晴れています。

向こう一週間は、山沿いや内陸部を中心に、一時雨や雷雨となる所がありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られます。

（参考事項）

近畿地方の梅雨明けの時期

平年 : 7月21日ごろ

昨年 : 7月18日ごろ

梅雨期間（6月7日から7月18日まで）の奈良県内の降水量（速報値）

気象官署	奈良	降水量の合計（mm）	平年値（mm）
アメダス地点	針	248.0	323.8
	田原本	179.0	262.0
	曾爾	201.0	328.1
	葛城	203.5	287.2
	大宇陀	192.5	298.8
	五條	151.5	／／
	吉野	178.5	286.5
	天川	253.5	／／
	上北山	352.5	450.8
	風屋	480.5	511.5
	下北山	468.0	／／
	玉置山	529.5	602.8

* 降水量の合計は速報値で、平年値は1981～2010年の平均値です。五條及び天川観測所は移設のため、下北山観測所は新設のため平年値はありません。

（注意事項）

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。

本件に関するお問合せ先：奈良地方気象台 0742-22-2556